

一般社団法人日本地域看護学会
2020年度第3回理事会議事録

- I. 日 時 2021年2月21日(日) 13:30~16:00
- II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議
配信元:株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)
- III. 出席者 理事長 宮崎美砂子
副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子
理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子,
岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,
田村須賀子, 永田 智子*, 春山 早苗
監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代
事務局 筒井 愛, 野田 智己 (*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

IV. 議 事

報告事項

1. 2020年度役員選挙の結果について(田村理事)資料1

選挙管理委員会より、2020年度役員選挙の結果について報告した。2021年1月28日に開票が行われ、67人中55人から投票があり、投票率は82.0%であった旨、理事(当選理事)12人および監事2人が選出された旨を報告した。就任の諾否を確認後、メールにて現役員に報告し、推薦理事を含めた役員を選任について2021年度社員総会に諮ることとした。また、会員には、社員総会承認後、HPおよび学会だより等にて報告することとした。

2. 第24回学術集会について(岸理事)資料2・別紙資料A

第24回学術集会をWeb開催とすることについて、2021年8月27日~9月26日までオンデマンド配信を行い、9月11・12日はライブ配信を行うこととし、事前のオンライン配信を経て、ライブ配信時に質疑応答や意見交換ができるよう準備を進めている旨を報告した。併せて、ライブ配信スケジュール案および予算案を確認した。また、当初、会場として予約をしていた一橋講堂のキャンセル費用は、コロナ禍での特別対応として無料になったことも報告した。

3. 第24回学術集会理事会セミナーについて(田高理事)資料3

第24回学術集会理事会セミナーは、乙部由子氏(元名古屋工業大学 特任准教授・NPO法人ウイメンズボイス 理事)に、「“Society 5.0”の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題」をテーマにオンデマンド配信での講演を依頼することとした旨を報告した。

4. 第25回学術集会について(田村理事)

第25回学術集会(2022年8月27~28日、富山国際会議場(富山市))に向けて、1月8日に第1回企画委員会を開催し、運営体制、プログラム等の検討を行った旨を報告した。また、委員会内で検討し、学術集会テーマを「地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション 一当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり」と変更したこと、第23回学術集会と同様に演題発表者は筆頭著者が会員であれば共著者は非会員でも可とすること、倫理的配慮がなされているのであれば所属先等の倫理審査機関による審査を受けていなくても可とする旨も併せて報告した。

5. 会員数について(石丸理事)資料4

2月13日時点での会員数は、1,464人である旨を報告した。

6. 委員会報告について

1) 編集委員会(北山理事)資料5-1・別紙資料B

第3回委員会を2月6日に開催したこと、および、学会誌の電子化に伴い行ったアンケート調査(調査対象者:1,354人、回答者数:168人、回答率:12.4%)の報告がなされた。調査結果

より、多くの会員が学会誌の発行に気が付いていないことを受け、今後は新刊を案内するメールマガジンは他の連絡項目と混合せず、単独で配信することとした。また、地域看護に活用できるインデックスについては、学会 HP のトップページにバナーを貼り、目に留まりやすくする工夫をした。

また、本学会誌に掲載済の論文の著者より論文取り下げの依頼があり、申し出の理由ならびに著作権を持つ本学会としての対応を慎重に検討した結果、当該論文に対し、論文の取り下げではなく、学会 HP と J-STAGE に掲載されている電子的公開のみを削除し対応することを決定した。なお、本決定については、著者への配慮を行ったうえで、学会 HP および学会誌第 24 巻第 1 号に掲載することとした。

2) 研究活動推進委員会（大森理事）資料 5-2

第 1 回研究セミナー（3 月 14～21 日：オンデマンド配信／3 月 13 日：LIVE 配信）について、本日時点での申込人数が 182 名である旨を報告した。

今後も、セミナーのオンライン化・オンデマンド配信化のニーズは高いことから、参加費の設定や学生の参加者を増やすこと、経費などを検討していくこととした。

3) 広報委員会（田村理事）資料 5-3

昨年同様、広報のための質問紙アンケートハガキを作成し、学術集会の案内とともに、独立行政法人国立病院機構：140 か所、国立大学法人・私立学校法人附属病院：155 か所、公的医療機関・社会保険関係団体（日本病院会会員）：796 か所、計 1,091 か所を対象に郵送予定である旨を報告した。

4) 教育委員会（岸理事）資料 5-4・別紙資料 C

地域看護学の教育内容と方法を提案するにあたり、代議員への意見募集（回答数：2 件）、委員会での検討内容を反映した「日本地域看護学会が提案する地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を確認した。最終確認を行い、3 月に学会 HP にて公開することとした。

また、『看護展望（メヂカルフレンド社／月刊誌）』より、5 月号で地域・在宅看護論の授業づくりに関する特集を組むにあたり、原稿執筆の依頼があり、宮崎理事長、岸理事、教育委員会委員長を中心に引き受けることとした旨を報告した。

5) 国際交流推進委員会（河野理事）資料 5-5

第 24 巻第 1 号に英文ニュースレター No.20 を掲載予定であることを報告した。

6) 表彰論文選考委員会（上野理事）資料 5-6

2020 年度論文賞の選考に際し、役員・代議員による事前投票を実施した旨（投票人数：30 名、投票率：44.7%）、第 1 回委員会を 2 月 6 日に開催し、論文賞ならびに名誉会員候補者の選考を行った旨を報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会（春山理事）資料 5-7

各委員による COVID-19 関連の支援活動状況等の報告や情報共有がなされた。また、健康危機管理支援システムに関する委員会活動についての報告がなされた。

7. 2020 年度中間決算について（石橋理事）資料 6

2 月 19 日付の収支計算書を基に、2020 年度中間決算について報告した。

8. その他

1) JANA 役員選挙について（宮崎理事）資料 7

JANA 役員選挙に際して、本学会の会員である荒木田美香子氏と上野まり氏を理事、村嶋幸代氏を監事として選出し、投票したことを報告した。

審議事項

1. 前回理事会議事録について（宮崎理事）資料 8

2020 年度第 2 回理事会議事録案の内容を確認し、これを承認した。

2. 2021 年度社員総会について（石丸理事）資料 9

2021 年度社員総会について、6 月 27 日（日）13：30～14：30、Zoom によるオンライン会議にて開催する旨を決定した。資料などは昨年と同様に事前のメール配信を行うこととする。

3. 2020 年度事業報告案について（石丸理事）資料 10

2020 年度事業報告案（学会全体および委員会活動）について、資料を基に確認した。メール審議

を行った事案についても記載するほか、全体的に内容を点検したうえで次回理事会において再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

4. 2021年度ならびに2022年度事業計画案について（石丸理事）資料11

2021年度事業計画案ならびに2022年度事業計画案について、資料を基に確認し、これを承認した。次回理事会において再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

5. 2021年度予算案について（石橋理事）資料12

2021年度予算案について、資料を基に確認した。委員会活動費およびオンデマンド配信などのWeb関連費、業務委託費等を見直したうえで、次回理事会において再度確認し、2021年度社員総会に諮ることとした。

6. 2020年度表彰論文および名誉会員について（上野理事）資料13

表彰論文選考委員会にて選考した、2020年度論文賞ならびに名誉会員候補者について、資料を基に検討した。論文賞は選考方法も含め適切であったことを確認したうえで、以下のとおり優秀論文賞1編および奨励論文賞2編の選出を承認した。また、名誉会員候補者1名を推挙し、2021年度社員総会にて承認を得ることとした。

なお、第24回学術集会在Web開催となったことから、授賞式についてもオンラインで執り行う旨を決定した。2020年度社員総会にて名誉会員として承認された別所遊子氏の称号証の授与も併せて行うこととする。

優秀論文賞

タイトル：発達上気になる子どもの保護者支援に関する保健師－保育士連携活動自己評価尺度の開発（原著）

著者：大塚敏子・巽あさみ・坪見利香

巻号：第22巻第1号

奨励論文賞1

タイトル：アルコール依存症者が断酒と就業を両立するプロセス（原著）

著者：佐野雪子・巽あさみ

巻号：第22巻第2号

奨励論文賞2

タイトル：中山間農村地域のひとり暮らし男性高齢者と地域との関係性における経験の意味

著者：細木千穂・白谷佳恵・田高悦子・伊藤絵梨子・有本 梓

巻号：第22巻第2号

7. 投稿規程等・チェックリスト改定案について（北山理事）資料14

会員より、英文での論文投稿時の執筆要領に関する問い合わせがあったことを受け、編集委員会にて、英文投稿用のWord数・図表換算数を定めた投稿規程改定案およびチェックリスト修正案を作成した旨の報告があり、確認のうえ、本日付けでこれを承認した。なお、査読体制については、投稿受付時に編集委員会にて随時対応することとした。

8. 賛助会員の入会申請について（石丸理事）資料15

前回理事会より継続して審議している、賛助会員の入会金と年会費について、資料を基に賛助会員（個人又は団体）の入会金は10,000円、年会費は30,000円とすることが提案され、これを承認した。なお、賛助会員の特典として、賛助会員となる団体名（社名）は学会HPに「賛助会員」として記されリンクがはられること、学術集会上、賛助会員の団体（社）のメンバー（社員）1名は無料で参加できること、の2点を決定した。

9. 学会HPの企業広告について（石丸理事）資料16

広告掲載規程第3条「バナー広告の掲載場所、掲載料金および規格は別途定める」および第5条「バナー広告掲載を希望する広告主は、別途定める申込書にて手続きをとるものとする」について、バナー広告掲載に係る申し合わせ案およびバナー広告申込書の提案があり、内容を確認し、本日付けでこれを承認した。バナー広告の掲載申込ができる企業および団体は本学会の目的に賛同する者（賛助会員に限らない）、掲載場所はHPトップページ、掲載料金は20千円/月（税別）とすることとした。

10. 入退会者申請者および年会費滞納者について（石丸理事）資料17・回覧資料

入会申請者17人、退会申請者28人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については大森理事・宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者で未納の年会費がある者については納付をもって退会を認める旨を確認した。

また、会費滞納者について、2年滞納の25人は会員資格の継続を認め、引き続き年会費を請求し、3年滞納の17人は2月21日付での退会手続きを取ることにし、これを承認した。

11. 第26回学術集会長について（宮崎理事）

2023年開催の第26回学術集会の学術集会長について検討し、荒木田美香子理事に就任を依頼することとした。

12. その他

1) 次回理事会の日程について（宮崎理事）

2021年度第1回理事会について、5月1日（土）オンライン会議にて開催することとした。